

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

1 移住定住促進奨励金交付事業

担当課	市民協働課	担当者	三浦 正二郎	委員氏名	
-----	-------	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	暮らし始めるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	移住定住促進奨励金交付事業			事業概要	市内で新築若しくは中古住宅を取得した方を対象に、奨励金として市内の店舗で利用できる商品券を交付する。交付額は、基本は新築住宅を取得した場合は5万円×5年(合計25万円)とし、中古住宅を取得した場合は2万円×5年(合計10万円)とする。ただし、市外からの転入者の場合は、新築住宅は5万円×5年(合計25万円)、中古住宅は3万円×5年(合計15万円)の上乗せを行い、空き家空き地バンク事業との相乗効果により移住定住人口の更なる増加を図る。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度の年間申請件数				
		目標指標値	200件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	2010731	移住定住促進奨励金交付事業(創生)	6,216

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	3,440	3,329			111		3,440	200件	49件
28									
効果検証	実施状況(Do)	市広報やHPIによる事業制度周知を行った。また、制度該当者への制度案内を通知し、申請を促した。49件中、市外:19件転入・59名転入者、市内:30件・99名定住							
	問題・課題(Check)	移住定住促進奨励金の交付を受けるための要件を満たさない物件への対応(申請時期を逃した申請者に対する制度改正、住民票の異動や保存登記の周知)。							
	具体的改善内容(Action)	同規則の一部改正にて対応。より具体的な制度の周知が必要。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	2	事業の継続	平成27年度の対象物件は1~5月に完成した物件であり、申請件数も絞られている。次年度は倍以上の申請が見込める。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることにはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

2 空き家・空き地バンク事業

担当課	市民協働課	担当者	三浦 正二郎	委員氏名	
-----	-------	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	暮らし始めるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	空き家・空き地バンク事業			事業概要	売却・賃貸を希望する空き家(住宅、店舗、工場、事務所、倉庫)及び空き地(宅地、農地、雑種地)を登録し、瑞浪市と協定を結んだ市内の不動産事業者と連携して空き家・空き地バンク事業を実施する。登録物件は市のホームページにより広く紹介し市が窓口となる。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	バンク物件への年間移住定住相談件数				
		目標指標値	20件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	2010732	空き家・空き地バンク事業(創生)	2,881

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	1,891	1,865			26		1,891	20件	71件
28									
効果検証	実施状況(Do)	市内に土地や建物を所有している方々に対しては、固定資産税の課税明細に物件募集チラシと物件登録申込書を入れたり、広報などによる制度周知により、空き家や空き地の所有者からの物件申込みも増えてきた。また、空き家や空き地を利用したい方も増えてきており、メールマガジンによる新規物件の情報発信を行っている。							
	問題・課題(Check)	特に空き地についての登録申込みが多く、調査に時間がとられ、未登録物件が数多く存在している。今後も協力不動産事業者と協議して行っていかなければならない。							
	具体的改善内容(Action)	物件登録申込みがあった場合、市にて事前調査を行い、その情報及び現地状況を把握し、不動産事業者と協議により、登録物件の選別を図り、時間短縮に努める。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	4	事業内容の見直し(改善)	空き地物件の数に対しての利用申込者数が少ない。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

3 空き家等改修補助事業

担当課	市民協働課	担当者	三浦 正二郎	委員氏名	
-----	-------	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	暮らし始めるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	空き家等改修補助事業			事業概要	市内に存在する空き家の有効活用のため、空き家・空き地バンクに登録した物件で、売買契約若しくは賃貸借契約を締結した物件を対象として、市内事業者が居住目的で施工する場合に限り、改修工事に要する経費の一部を補助する。補助対象費(消費税は除く)の2分の1。上限は100万円(千円未満切捨て)昭和56年6月以前に着工した木造住宅に限り、耐震強度の不足している物件については、木造住宅耐震補強工事(別途補助制度有)を条件としている。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度の年間申請件数				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	2010735	空き家等改修補助事業(創生)	10,040

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	1,123	1,123					1,123	5件	2件
28									
効果検証	実施状況(Do)	空き家・空き地バンク事業を推進するために、本事業を実施し平成27年度の活用実績は2件。空き家を契約した件数を下回っている。							
	問題・課題(Check)	改修補助金を受けるためには、耐震強度が不足している空き家は耐震基準を評点1.0まで上げることが条件となっているが、空き家・空き地バンクに登録される物件は耐震基準を満たしていない物件が多く、改修補助金を得るための負担が多いのもあり、制度の活用を断念する場合もあった。評点を1.0から0.7に下げるなどの協議が必要。							
	具体的改善内容(Action)	木造住宅の耐震化を推進する都市計画課と協議を行い、可能であれば空き家等改修補助金交付要綱の一部改正を行い、事業活用の推進を図る。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	4	事業内容の見直し(改善)	耐震基準1.0が改修補助金の要件になっているが、1.0にするには費用がかかる為申請件数が少ないと考えられる。耐震基準1.0から0.7にし要件を緩和する。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

4 移住定住情報発信事業

担当課	市民協働課	担当者	三浦 正二郎	委員氏名	
-----	-------	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	暮らし始めるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	移住定住情報発信事業			事業概要	瑞浪市への移住定住を促進するために、全庁的に移住定住に関連した事業をまとめ、本市の魅力をパッケージとしてPRするための事業。移住希望者へ各種イベントや住宅メーカーなどを通じて配布するパンフレットを作成する。また、市ホームページ内に移住定住のスペシャルサイトを作成したり、JR車両内での移住定住ポスター掲出など、更なる情報発信を行う。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	移住定住年間相談件数				
		目標指標値	50件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	2010733	移住定住情報発信事業(創生)	7,096

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	6,304	6,081			223		6,304	50件	82件
28									
効果検証	実施状況(Do)	ホームページのリニューアル、メールマガジンの整備やポスターの作成を行い、情報発信ツールの整備を行った。							
	問題・課題(Check)	市の情報が未だに行き届いていないところがあるので、情報発信の強化を行いたい。							
	具体的改善内容(Action)	市広報や市ホームページを活用し、更なる情報発信を行う。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	3	事業内容の見直し(改善)	平成27年度は情報発信を行うための媒体の整備を行った。今後はそれを活用し継続的な情報発信を行っていく。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

5 東濃5市広域観光PR事業

担当課	商工課	担当者	小木曾 昌弘	委員氏名	
-----	-----	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	暮らし始めるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	東濃5市広域観光PR事業			事業概要	東濃5市で連携する「東濃ぐるりん観光事業実行委員会」において、観光地域としての定着を図るため、東濃のPRを中心とした各種事業の企画及び実施をし、事業結果を踏まえ今後の連携のあり方や事業方針を検討する。	
	事業期間	H27					
	重要業績評価指標 KPI	指標	年間観光入込客数				
		目標指標値	137万人				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	7010422	東濃圏広域観光PR事業(創生)	20,000
						東濃圏広域観光PR事業	800

2. 事業評価

年度	投入コスト(千円)						KPI			
	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値	
27(繰越)	10,000	10,000					10,000	137万人	149万人	
27	800					800				
効果検証	実施状況(Do)	平成27年度は、東濃地方の一体的なPRのため、ロゴマークやポスター、幟、PR動画などの基本ツールの作成と、ネームバリューを活かした「るるぶ東濃」の製作を行った。また、名古屋ではイベントに出展、首都圏では東京駅前のKITTEにて観光展を行うとともに、ポスターの駅貼り(JR東京駅など首都圏主要駅)や、関東の主な高速道路SA・PAへのパンフレット掲出を同時期に実施し相乗的なPRを行いました。								
	問題・課題(Check)	平成28年度にも東濃5市の同じ枠組みで地方創生加速化交付金を申請し交付決定をいただいたので、昨年度の検証を行いつつ事業を展開する必要がある。								
	具体的改善内容(Action)	平成28年度途中に、東濃5市で地方創生交付金上乗せ交付分を申請し交付決定をいただいたことを受け、従来の事業を拡大し、東濃へ観光客を呼び込む事業を展開する。								
	観点	担当課(1次評価)			総合戦略推進会議(2次評価)					
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由			評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	3	追加等更に発展させる	情報発信に重点を置いた事業であったため、今後は観光客を呼び込む事業を展開する。						
事業の評価	2									
総合戦略推進会議(意見)										

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

6 ゴルフの町みずなみPR事業

担当課	商工課	担当者	小木曾 昌弘	委員氏名	
-----	-----	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	暮らし始めるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	ゴルフの町みずなみPR事業			事業概要	瑞浪市には、ゴルフ場が13箇所もあるという魅力を活用し、「ゴルフの町みずなみオープンゴルフ大会」を実施し、「ゴルフの町みずなみ」をPRする。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	ゴルフ場年間利用者数				
		目標指標値	60万人				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	7010421	ゴルフの町みずなみPR事業(創生)	1,300

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	1,300	1,000			300		1,300	60万人	57万人
28									
効果検証	実施状況(Do)	第6回ゴルフの町みずなみオープンゴルフ大会を平成28年1月17日～31日(日)の期間中、市内の13のゴルフ場にて予選会を開催し、3月30日(水)東濃カントリー倶楽部にて決勝大会を開催した。予選には、1,954名が参加し、内175名が決勝大会に参加された。							
	問題・課題(Check)	第5回大会と比較すると、予選会は参加者が減少しているが、市外からの参加者が8割以上あるので、より多くの方に参加していただければ、PRをする必要がある。							
	具体的改善内容(Action)	オープンゴルフ大会への市外からの参加者を増やし、ゴルフの町みずなみのPRに繋げる。ゴルフの町みずなみをPRすることにより、市内ゴルフ場への来場者を増やし、ゴルフ産業の振興、地域の活性化及び瑞浪市の魅力の情報発信に繋げる。同時にゴルフ客の市内観光施設への誘客を図る。							
	観点	担当課(1次評価)			総合戦略推進会議(2次評価)				
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	2	事業の継続	オープンゴルフ大会を継続して開催し、「ゴルフの町みずなみ」をPRし、市内ゴルフ産業の振興と活性化を図る。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることにはなかったものの目標指標値を相当程度(7割～8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

7 婚活支援事業

担当課	市民協働課	担当者	三浦 正二郎	委員氏名	
-----	-------	-----	--------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	子供を産み育てるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	婚活支援事業			事業概要	少子化の要因となっている晩婚化、未婚化の拡大を防ぎ、人口減少対策及び地域活性化の推進のため、独身男女の出会いの場を積極的に創出する事業を行う個人や団体に対して、交付金を交付する。交付金額は、1事業につき10万円以内。事業内容は、20歳以上の独身男女を対象とする交流イベントの実施。①異性とのコミュニケーション能力の向上を図る事業 ②男女の健全な出会いの場を提供する事業 ③結婚へのきっかけづくりを支援する事業。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度の年間申請件数				
		目標指標値	5件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	2010734	婚活支援事業(創生)	1,020

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	297	293			4		297	5件	4件
28									
効果検証	実施状況(Do)	婚活の申請を出すところが決まってきた。申請件数は想定よりも下回るがカップル成立数は増えてきている。また、参加者が参加しやすくなるよう、平成27年10月に土岐市と婚活事業相互連携に関する覚書を締結し、広域での事業成果に繋げたい。H27:4件の申請、28組のカップル							
	問題・課題(Check)	婚活事業の申請を出す団体が固定化してきている。単発でもいいので婚活事業を行う団体が増えるように事業をPRしていく。また、土岐市との連携による事業成果の検証も今後必要。							
	具体的改善内容(Action)	本事業を行うことでメリットが見込める団体に対しての制度周知が必要。また、更なる広域化も検証の余地がある。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	3	事業の継続	定期的に婚活事業を行う団体が増えてきたので今後も継続して事業を行う。また、新規事業者を増やしていく。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4:本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3:本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2:本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1:本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2:本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1:本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

8 一般不妊治療助成事業

担当課	健康づくり課	担当者	有賀 妥子	委員氏名	
-----	--------	-----	-------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	子供を産み育てるなら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	一般不妊治療助成事業			事業概要	平成27年度からスタートした一般不妊治療費の一部を助成する事業。当市の助成事業は、人工授精以前の治療・検査も含んでおり、東濃5市内では独自事業となる。対象者は、申請時に妻の年齢が40歳未満、法律上の夫婦で本市に1年以上居住しており、今後も居住予定であること、市税滞納がない方。助成対象期間は治療の開始から24月で、1年あたり個人負担額の1/2 上限10万円。関係書類の提出要。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度の年間申請件数				
		目標指標値	90件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	4010311	一般不妊治療助成事業(創生)	9,000

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	345	345					345	90件	12件
28									
効果検証	実施状況(Do)	平成27年度は申請12件、助成12件であった。助成した者のうち母子手帳交付者は8名でそのうち現在(平成28年8月時点)で5名が出産に至っている。							
	問題・課題(Check)	やむを得ない状況で不妊治療が中断する事例、妊娠安定期に入る前の事例等があったため、これらの事例を踏まえ申請の取扱いを検討する必要がある。							
	具体的改善内容(Action)	申請の取扱いの見直しをすると共に、他疾患により不妊治療を中断せざるを得ない場合の助成期間加算等について見直し、助成対象者の拡大を図る。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	2	事業内容の見直し(改善)	申請の取扱い等を見直し助成対象者の拡大を図り、継続実施する。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

9 地場産業等活性化事業

担当課	商工課	担当者	足立 寛聡	委員氏名	
-----	-----	-----	-------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	やりがいをもって働いたら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	地場産業等活性化事業			事業概要	陶磁器デザイナーなど、様々な業種における技術の取得を目指して新たに人材を雇用する企業を支援する。	
	事業期間	H27					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度による新規雇用者				
		目標指標値	3人				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	2010731	地域人材育成事業(創生)	17,000

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	4,257	4,257					4,257	3人	3人
28									
効果検証	実施状況(Do)	陶磁器分野、食品分野での技術取得を目指して、新たに3人を雇用した。							
	問題・課題(Check)	人材育成と雇用の継続							
	具体的改善内容(Action)	地域人材育成として、雇用継続できる体制整備を目指す。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	2	予定通り事業終了	所期の目的は達成したが、分野横断的に人材育成を行う中で、技術の伝承や女性の活躍できる分野の開拓など、地域活性化に繋げることが課題である。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

10 工業用地等創出事業

担当課	商工課	担当者	足立 寛聡	委員氏名	
-----	-----	-----	-------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	やりがいをもって働いたら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	工業用地等創出事業			事業概要	工業用地に適した用地を調査し、新たな雇用の場の確保を目指す。	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	新規工業用地創出件数				
		目標指標値	1件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	7010225	工業用地等創出事業(創生)	20,000

2. 事業評価

年度	決算額	投入コスト(千円)				KPI			
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	8,845	8,845					8,845	1件	-
28									
効果検証	実施状況(Do)	計画に基づき、稲津地区、釜戸地区の調査を完了した。							
	問題・課題(Check)	稲津地区の地権者数が多いこと、釜戸地区では農地であることについて課題がある。							
	具体的改善内容(Action)	調査結果により特徴を明確にし、今後の方針を定める必要がある。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	2	事業の継続	稲津町及び釜戸町にて、工業団地としての開発可能性調査を終え、今後は実施の有無について検討していく。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

11 新たな事業チャレンジ支援事業

担当課	商工課	担当者	足立 寛聡	委員氏名	
-----	-----	-----	-------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	やりがいをもって働いたら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	新たな事業チャレンジ支援事業			事業概要	市内において新たな事業を実施する者へ、必要な設備に係る経費の一部を補助する。 補助上限額: 5,000千円	
	事業期間	H27-H31					
	重要業績評価指標 KPI	指標	制度の年間申請件数				
		目標指標値	5件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	7010228	新たな事業チャレンジ支援事業(創生)(繰越)	25,000
						新たな事業チャレンジ支援事業	5,000

2. 事業評価

年度	投入コスト(千円)						KPI		
	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27(繰越)	7,112	7,112					7,112	5件	3件
27	5,000					5,000			1件
効果検証	実施状況(Do)	平成26年度は1件、平成27年度は4件が本事業にて新たな事業を開始した。利用相談も増えてきている。							
	問題・課題(Check)	補助金の目的に沿った事業となっているか見極める必要がある。							
	具体的改善内容(Action)	平成28年4月に制度を見直し、雇用の拡大が見込まれない事業、又は常時従事する者がいない事業は対象としないことを明確にし、また、事業の成果に係る状況報告書を提出することなどの要綱改正を行った。創業支援計画に基づいて、市内各金融機関と連携して、制度のPRに努める。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	3	事業内容の見直し(改善)	補助金の趣旨である、経済の活性化と雇用の促進に繋がるよう、今後も適宜、制度を見直す。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることにはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

平成28年度 瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート

12 瑞浪ポーノポーク販路拡大支援事業

担当課	農林課	担当者	棚橋 武己	委員氏名	
-----	-----	-----	-------	------	--

1. 事業概要

総合戦略体系	基本目標	魅力的な暮らしを創造する			戦略	やりがいをもって働いたら瑞浪で	
実施事業 (Plan)	事業名	瑞浪ポーノポーク販路拡大支援事業			事業概要	東京、名古屋等の大都市圏で創業する瑞浪ポーノポーク専門飲食店を支援するとともに、瑞浪市の情報発信スペースを設け、瑞浪ポーノポークの大都市圏での知名度アップと瑞浪市の移住定住施策、観光情報等のPRを行う。	
	事業期間	H27					
	重要業績評価指標 KPI	指標	大都市圏での専門店設置件数、大都市圏からの移住定住相談件数				
		目標指標値	2店舗、10件				
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	事業名	予算現額(千円)
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	6010345	瑞浪ポーノポーク販路拡大支援事業(創生)	4,600

2. 事業評価

年度	投入コスト(千円)						KPI		
	決算額	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	特定財源合計	目標指標値(再掲)	実績値
27	4,333	4,333					4,333	2店舗、10件	2店舗、5件
28									
効果検証	実施状況(Do)	東京、名古屋での瑞浪ポーノポーク専門店をそれぞれ1軒出店した。また、東京、名古屋で移住定住PR事業を行った。							
	問題・課題(Check)	瑞浪ポーノポークの継続的な安定生産体制の確立。							
	具体的改善内容(Action)	大都市圏など、さらなる販路拡大を図るため、瑞浪ポーノポーク、移住定住の情報発信箇所を増設していく。							
	観点	担当課(1次評価)				総合戦略推進会議(2次評価)			
		評価点	今後の方針	今後の方針の理由		評価点	今後の方針	今後の方針の理由	
	事業効果	2	予定通り事業終了	所期の目的は達成したが、瑞浪ポーノポークの専門店と移住定住人口が増加するよう情報発信していく。					
事業の評価	2								
総合戦略推進会議(意見)									

評価点(目安)	事業効果	4: 本事業は地方創生に非常に効果的であった(目標指標値を上回ったなど) 3: 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの目標指標値を相当程度(7割~8割)達成したなど) 2: 本事業は地方創生に効果があった(目標指標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど) 1: 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
	事業の評価	2: 本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった 1: 本事業は地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった
今後の方針(目安)		<ul style="list-style-type: none"> ・事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる(追加発展) ・事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)(見直し改善) ・特に見直しをせず事業を継続する(事業の継続) ・継続的な事業実施を予定していたが中止した(事業の中止) ・当初予定通り事業を終了した(事業終了)

事業名	事業概要	実績額 (円) (平成27年度)	KPI指標	KPI 指標値	単位	目標年月	平成27年 度終了時の 実績値	事業効果 (担当課評価)	事業の評価 (担当課評価)	実績値を踏まえた 今後の方針 (担当課評価)	今後の方針 の理由 (担当課評価)	担当課
1 移住定住促進奨励金交付事業	市内で新築若しくは中古住宅を取得した方を対象に、奨励金として市内の店舗で利用できる商品券を交付する。交付額は、基本は新築住宅を取得した場合は5万円×5年(合計25万円)とし、中古住宅を取得した場合は2万円×5年(合計10万円)とする。ただし、市外からの転入者の場合は、新築住宅は5万円×5年(合計25万円)、中古住宅は3万円×5年(合計15万円)の上乗せを行い、空き家空き地バンク事業との相乗効果により移住定住人口の更なる増加を図る。	3,440,500	制度の年間申請件数 (移住者数165人) (定住者数358人)	200	件	毎年 H32.3	49 (59) (99)	②地方創生に効果があった	②総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	平成27年度の対象物件は1～5月に完成した物件であり、申請件数も絞られている。次年度は倍以上の申請が見込める。	市民協働課
2 空き家・空き地バンク事業	売却・賃貸を希望する空き家(住宅、店舗、工場、事務所、倉庫)及び空き地(宅地、農地、雑種地)を登録し、瑞浪市と協定を結んだ市内の不動産事業者と連携して空き家・空き地バンク事業を実施する。登録物件は市のホームページにより広く紹介し市が窓口となる。	1,890,728	バンク物件への年間移住定住相談件数	20	件	毎年 H32.3	71	④地方創生に非常に効果的であった	②総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	空き地物件の数に対しての利用申込者数が少ない。	市民協働課
3 空き家等改修補助事業	市内に存在する空き家の有効活用のため、空き家・空き地バンクに登録した物件で、売買契約若しくは賃貸借契約を締結した物件を対象として、市内事業者が居住目的で施工する場合に限り、改修工事に要する経費の一部を補助する。補助対象費(消費税は除く)の2分の1。上限は100万円(千円未満切捨て)昭和56年6月以前に着工した木造住宅に限り、耐震強度の不足している物件については、木造住宅耐震補強工事(別途補助制度有)を条件としている。	1,123,000	制度の年間申請件数	5	件	毎年 H32.3	2	④地方創生に非常に効果的であった	②総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	耐震基準1.0が改修補助金の要件になっているが、1.0にするには費用がかかる為申請件数が少ないと考えられる。耐震基準1.0から0.7にし要件を緩和する。	市民協働課
4 移住定住情報発信事業	瑞浪市への移住定住を促進するために、全庁的に移住定住に関連した事業をまとめ、本市の魅力パッケージとしてPRするための事業。移住希望者へ各種イベントや住宅メーカーなどを通じて配布するパンフレットを作成する。また、市ホームページ内に移住定住のスペシャルサイトを作成したり、JR車両内での移住定住ポスター掲出など、更なる情報発信を行う。	6,303,885	移住定住年間相談件数	50	件	毎年 H32.3	82	③地方創生に相当程度効果があった	②総合戦略のKPI達成に有効であった	事業内容の見直し(改善)	平成27年度は情報発信を行うための媒体の整備を行った。今後はそれを活用し継続的な情報発信を行っていく。	市民協働課
5 東濃5市広域観光PR事業	東濃5市で連携する「東濃ぐるりん観光事業実行委員会」において、観光地域としての定着を図るため、東濃のPRを中心とした各種事業の企画及び実施をし、事業結果を踏まえ今後の連携のあり方や事業方針を検討する。	10,800,000	年間観光入込客数	137	万人	H28.3	149	③地方創生に相当程度効果があった	②総合戦略のKPI達成に有効であった	追加等更に発展させる	情報発信に重点を置いた事業であったため、今後は観光客を呼び込む事業を展開する。	商工課
6 ゴルフの町みずなみPR事業	瑞浪市には、ゴルフ場が13箇所もあるという魅力を活用し、「ゴルフの町みずなみオープンゴルフ大会」を実施し、「ゴルフの町みずなみ」をPRする。	1,300,000	ゴルフ場年間利用者数 (「ゴルフの町みずなみ」参加者数3,000人)	60	万人	H32.3	57 (2,129)	②地方創生に効果があった	②総合戦略のKPI達成に有効であった	事業の継続	オープンゴルフ大会を継続して開催し、「ゴルフの町みずなみ」をPRし、市内ゴルフ産業の振興と活性化を図る。	商工課

2次評価事業一覧

事業名	事業概要	実績額（円） （平成27年度）	KPI指標	KPI 指標値	単位	目標年月	平成27年 度終了時の 実績値	事業効果 （担当課評価）	事業の評価 （担当課評価）	実績値を踏まえた 今後の方針 （担当課評価）	今後の方針 の理由 （担当課評価）	担当課
7 婚活支援事業	少子化の要因となっている晩婚化、未婚化の拡大を防ぎ、人口減少対策及び地域活性化の推進のため、独身男女の出会いの場を積極的に創出する事業を行う個人や団体に対して、交付金を交付する。交付金額は、1事業につき10万円以内。事業内容は、20歳以上の独身男女を対象とする交流イベントの実施。①異性とのコミュニケーション能力の向上を図る事業 ②男女の健全な出会いの場を提供する事業 ③結婚へのきっかけづくりを支援する事業。	297,193	制度の年間申請件数 (カップル成立数20組)	5	件	毎年 H32.3	4 (28)	③地方創生に相当 程度効果があった	②総合戦略のKPI達 成に有効であった	事業の継続	定期的に婚活事業を行う 団体ができてきたので今後も 継続して事業を行う。また、 新規事業者を増やしていく。	市民協働課
8 一般不妊治療助成事業	平成27年度からスタートした一般不妊治療費の一部を助成する事業。当市の助成事業は、人工授精以前の治療・検査も含んでおり、東濃5市内では独自事業となる。対象者は、申請時に妻の年齢が40歳未満、法律上の夫婦で当市に1年以上居住しており、今後も居住予定であること、市税滞納がない方。助成対象期間は治療の開始から24月で、1年あたり個人負担額の1/2 上限10万円。関係書類の提出要。	344,589	制度の年間申請件数	90	件	H32.3	12	②地方創生に効果が あった	②総合戦略のKPI達 成に有効であった	事業内容の見直し (改善)	申請の取扱い等を見直し助 成対象者の拡大を図り、継 続実施する。	健康づくり課
9 地場産業等活性化事業	陶磁器デザイナーなど、様々な業種における技術の取得を目指して新たに人材を雇用する企業を支援する。	4,256,441	制度による新規雇用者	3	人	H28.3	3	②地方創生に効果が あった	②総合戦略のKPI達 成に有効であった	予定通り事業終了	所期の目的は達成したが、 分野横断的に人材育成を 行うことで、技術の伝承や女 性の活躍できる分野の開拓 など、地域活性化に繋げる ことが課題である。	商工課
10 工業用地等創出事業	工業用地に適した用地を調査し、新たな雇用の場の確保を目指す。	8,845,200	新規工業用地創出件 数	1	件	H32.3	平成27年度 は適地調査の み	②地方創生に効果が あった	②総合戦略のKPI達 成に有効であった	事業の継続	稲津町及び釜戸町にて、工 業団地としての開発可能性 調査を終え、今後は実施の 有無について検討していく。	商工課
11 新たな事業チャレンジ支援事業	市内において新たな事業を実施する者へ、必要な設備に係る経費の一部を補助する。 補助上限額：5,000千円	12,112,032	制度の年間申請件数	5	件	H32.3	4	③地方創生に相当 程度効果があった	②総合戦略のKPI達 成に有効であった	事業内容の見直し (改善)	補助金の趣旨である、経済 の活性化と雇用の促進に繋 がるよう、今後も適宜、制度 を見直す。	商工課
12 瑞浪ポーノーク販路拡大支援事業	東京、名古屋等の大都市圏で創業する瑞浪ポーノーク専門飲食店を支援するとともに、瑞浪市の情報発信スペースを設け、瑞浪ポーノークの大都市圏での知名度アップと瑞浪市の移住定住施策、観光情報等のPRを行う。	4,333,237	大都市圏での専門店設 置件数 大都市圏からの移住定 住相談件数	2 10	店舗 件	H32.3まで	2 5	②地方創生に効果が あった	②総合戦略のKPI達 成に有効であった	予定通り事業終了	所期の目的は達成したが、 瑞浪ポーノークの専門店と 移住定住人口が増加する よう情報発信していく。	農林課